

2/28 玉雄

きょう4回目の放出

福島第1原発の汚染水

東京電力は26日、福島第1原発にたまる高濃度の放射性物質トリチウム（3重水素）を含む汚染水（アルプス処理水）について、今年度最後となる4回目の放出を28日午前から実施すると発表しました。3月17日までに終える予定。これまでの3回と同様に約7800トンが大層の海水で薄めた上で、海底トンネルを通じて沖合約1キロから流します。

昨年8月に始まった海洋放出では3回で計約2万3400トンの処理水を放出。2024年度は7回にわたり、計約5万4600トンを海水で薄め海に流す計画を立てています。

同社などは、海水や

水産物のトリチウム濃度測定を続けていますが、国の基準値を大幅に下回っています。

汚染水をめぐっては、放射性物質を除去する装置がある建屋の排気口から、閉めるべき弁を開けていたために高濃度の放射性物質が約1・5トン漏えいする事故が今月、発生。昨年10月には、多核種除去設備（アルプス）の配管を洗浄作業中に、飛散した放射性物質を浴びて、作業員2人が一時入院しました。